

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：カンショ「ベニアズマ」ウイルスフリー選抜系統の特性			
〔要約〕新たに選抜した「ベニアズマ」の優良系統「K-20」の収量はこれまでの配付系統と同等で、形状の乱れや障害の発生は少ない。病害抵抗性はつる割病に対して“強”、立枯病に対して“中”である。			
キーワード [※] カンショ、ベニアズマ、ウイルスフリー、系統選抜			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 水稻・畑地園芸研究所 畑地利用研究室	
	協力機関	農林総合研究センター 野菜研究室、農林総合研究センター 生物工学研究室、全国農業協同組合連合会千葉県本部・営農技術センター	
実施期間	2011年度～2015年度		

〔目的及び背景〕

カンショでは、同一品種であっても形状や肥大性、食味、貯蔵性、病害抵抗性が異なる系統が存在する。また、系統の特性は年月の経過とともに劣化していくことが経験的に知られている。配付系統「No.92」は、平成18年に配付を開始したが、近年、産地において形質の劣化が指摘されていた。そこで、配付系統の更新を目的に、優良系統を選抜する。

〔成果内容〕

- 1 平成18年に成田市の現地圃場から収集した「No.92」の個体選抜株をもとに平成19年にウイルスフリー株を作出し、平成20年以降、現地圃場へ供試し、優良系統「K-20」を選抜した。
- 2 「K-20」のいも株の外観評価は「No.92」より高い（図1、図2、表1）。
- 3 「K-20」は、「No.92」と比べて総いも重が同等で、形状の乱れや障害の発生が少ない（図2、表1）。
- 4 「K-20」の病害抵抗性は、つる割病に対して“強”、立枯病に対して“中”で、「No.92」と同程度である（表2）。

〔留意事項〕

〔普及対象地域〕

県内全域

〔行政上の措置〕

[普及状況]

平成 28 年度、JA 全農ちばが増殖及び販売する「ベニアズマ」ウイルスフリー苗は全量を「K-20」に更新した。

[成果の概要]

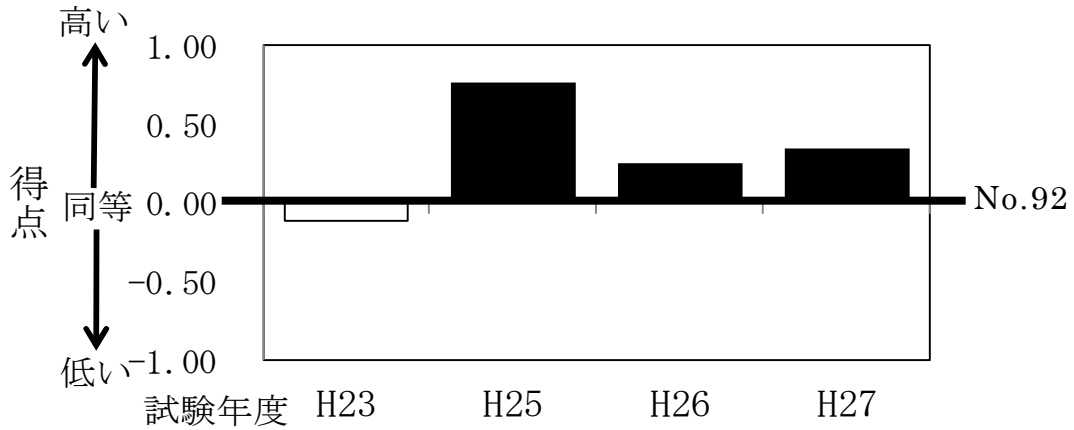


図1 「ベニアズマ」ウイルスフリー系統「K-20」の現地圃場選抜試験におけるいも株外観評価

- 注1) 現地試験圃場において、1区10株のいもの肥大、形状、揃い等の外観を、関係機関の担当者20名程度が評価した(評点:いもの外観が対照より優れる+1点、同等0点、劣る-1点)
- 2) 得点は、各圃場における評点の平均値を、さらに圃場間で平均した値(範囲:-1~+1)
- 3) 対照は試験年における配付系統「No.92」

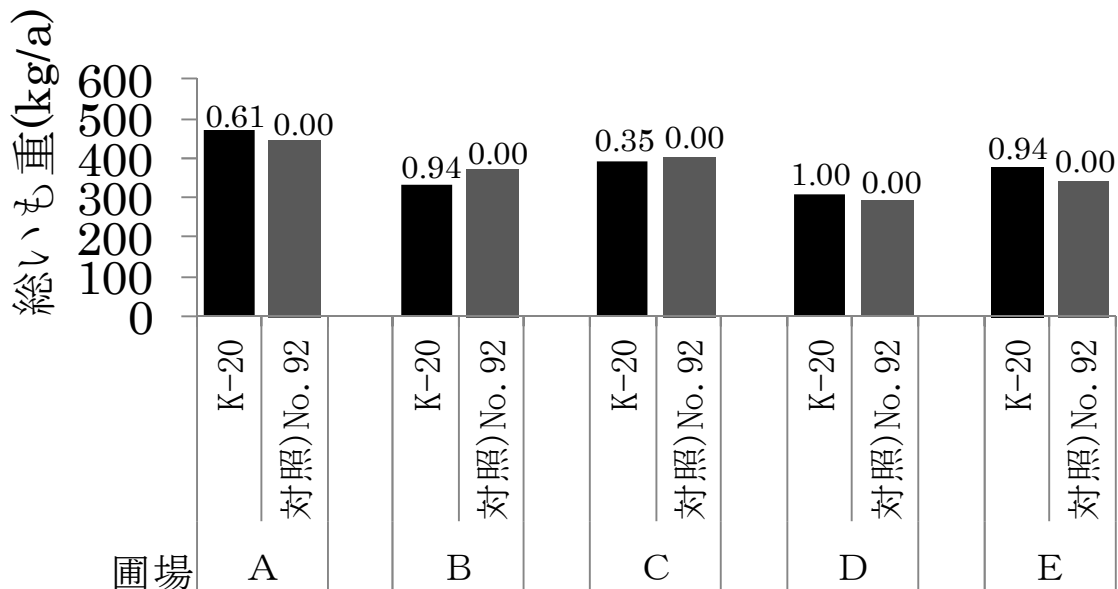


図2 「ベニアズマ」ウイルスフリー系統選抜現地試験における収量及び外観評価(平成25年度)

- 注1) 1区10株反復なし
- 2) 棒グラフ上の数字は、各現地試験圃場における評点(図1と同様)を平均した得点(範囲:-1~+1)

表 1 「ベニアズマ」 ウイルスフリー系統選抜系統のいもの階級及び外観品質（平成 25 年度）

圃場	系統	株当たり いも 数	重量別いも数 割合(%)			障害等の発生 いも率(%)			得点
			2S-	M-	2L-	丸	条溝	裂開	
			S	L	3L				
A	K-20	5.7	46	44	11	0	2	0	0.61
	対照)No.92	5.4	33	57	9	4	0	4	0.00
B	K-20	6.9	61	36	3	25	1	0	0.94
	対照)No.92	5.7	40	49	11	18	14	0	0.00
C	K-20	5.0	48	44	8	14	2	0	0.35
	対照)No.92	4.4	41	36	23	5	5	0	0.00
D	K-20	5.3	57	34	9	15	6	0	1.00
	対照)No.92	4.4	41	46	14	27	23	0	0.00
E	K-20	5.0	40	52	8	0	4	0	0.94
	対照)No.92	4.2	41	48	12	2	12	0	0.00

注 1) 1 区 10 株反復なし

2) 得点は、図 2 と同様（範囲：-1 ~ +1）

表 2 「ベニアズマ」 ウイルスフリー系統の病害抵抗性（平成 27 年度）

系統・品種	つる割病		立枯病	
	発病度	判定	発病度	判定
K-20	12	強	32	中
対照)No.92	14	やや強	35	中
指標)べにはるか (つる割病・強)	8	強	-	-
指標)ベニコマチ (つる割病・弱)	60	弱	-	-
指標)IDN47 (立枯病・強)	-	-	6	強
指標)ハーフ・ルスイトロト (立枯病・弱)	-	-	70	弱

注 1) 1 区 10 株反復なし

2) 試験は高野（2010）の方法による



K-20



No. 92

図 3 「ベニアズマ」選抜系統のいも株（平成 27 年度）

[発表及び関連文献]

[その他]